

パトリスフリーキーワードデータの購入
調達仕様書

独立行政法人 工業所有権情報・研修館

目次

1. 事業名	1
2. 事業概要	1
3. 納入データ	1
4. 予定件数	2
5. 納入データ納入時の提出物	2
6. 貸与物	2
7. 納入物の納入	2
8. 納入場所	2
9. 納入データの使用の制限	3
10. 留意事項	3
11. 担当者	3

別添資料

- (1) 別添資料1 納入データファイル仕様書
- (2) 別添資料2 キーワードデータ納入リスト
- (3) 別添資料3 出願番号・文献番号リスト作成仕様

1. 事業名

パトリスフリーキーワードデータの購入

2. 事業概要

本事業は、特許庁の審査及び審判における先行技術調査時の検索に資するため、株式会社パトリスが提供している検索用のキーワードデータであるパトリスフリーキーワード¹を特許庁検索システムに蓄積可能な形式で提供するものである。

このキーワードは、技術分類体系にとらわれずに、種々の分野に共通する技術用語を抽出したものであるため、Fタームとは別の観点で検索を行うことが可能な検索キーであり、Fターム等と組み合わせることにより、効率の良い検索を行うことが可能となる。

3. 納入データ

請負人は、パトリスフリーキーワードについて以下の要件に従って納入データを納入すること。

(1) 納入データは、「納入データファイル仕様書」(別添資料1)に基づき CD-R に格納し納入すること。この際、ファイル名は以下のようにすること。

①特許 PFKW.DAT

公開特許公報、公表特許公報、再公表特許のキーワードデータを記録したファイル

②新実 PFKW.DAT

登録実用新案公報のキーワードデータを記録したファイル

③実用 PFKW.DAT

公開実用新案公報のキーワードデータを記録したファイル

(2) 納入対象となるフリーキーワードデータは平成26年1月から平成26年12月までに特許庁が発行した公開特許公報、公表・再公表公報、登録実用新案公報、公開実用新案公報に係るものであること。

(3) 最終納入時には本契約において納入したすべてのフリーキーワードデータについて対象となった公報に訂正等があるか確認し、訂正等によりキーワードデータの追加又は修正が発生した場合には、当該フリーキーワードデータを納入データに収録して納入すること。

¹ 「パトリス」は、株式会社パトリスの登録商標である。パトリスフリーキーワードについては、株式会社パトリスの下記ホームページについても参照のこと。

<http://www2.patolis.co.jp/products/feature/patolis-iv/index.html>
<http://www2.patolis.co.jp/products/feature/patolis-iv/img/009.pdf>

4. 予定件数

約35万件（12ヶ月分）

5. 納入データ納入時の提出物

請負人は、納入毎に以下の提出物を納入データ納入時に提出すること。

- (1) キーワードデータ納入リスト 1部（紙出力したもの）
「キーワードデータ納入リスト」（別添資料2）の様式に従い作成すること。
- (2) 出願番号・文献番号リスト 必要枚数（CD-R）
「出願番号・文献番号リスト作成仕様」（別添資料3）に従いテキスト形式で作成すること。

6. 貸与物

納入物及び提出物を格納するための媒体を貸与する。

なお、貸与時期、借用書の様式等については独立行政法人工業所有権情報・研修館（以下「情報・研修館」という。）担当者と事前に協議すること。

- (1) 納入データ格納用媒体（CD-R）：必要枚数
※納入物「納入データ」格納用
- (2) 出願番号・文献番号リスト用媒体（CD-R）：必要枚数
※提出物「出願番号・文献番号リスト」格納用

7. 納入物の納入

請負人は、以下に従って納入物を納入すること。

- (1) 納入物
納入データ CD-R（必要枚数）
※貸与された媒体に格納したもの。なお、レーベルには情報・研修館担当者の指示に基づき、タイトル、対応する公報の発行月、納入日、件数を表示すること。
- (2) 納入時期
請負人は、納入物を原則として、毎月1回以上納入すること。
また、毎月の納入日は情報・研修館担当者と協議して決めることとする。
なお、納入は平成26年4月から開始し、最終納入期限は平成27年3月26日（木）とする。

8. 納入場所

独立行政法人工業所有権情報・研修館 情報管理部
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 特許庁庁舎2階南側

9. 納入データの使用の制限

納入データの使用は、特許庁、登録調査機関が行う審査審判等検索機械処理及び情報・研修館が行う研修の目的のみとし、外部閲覧サービスに使用しないものとする。

10. 留意事項

- (1) 請負人は、情報・研修館担当者と十分な打合せを行い、不明な点は必ず情報・研修館担当者に確認し指示に従うこと。
- (2) 請負人は、納入物に誤りが発見された場合は請負人の責任においてこれを修正し、修復したデータを再納入すること。

11. 担当者

本事業における情報・研修館担当者は以下のとおり。なお、人事異動等で変更の生じた場合は後任者とする。

独立行政法人工業所有権情報・研修館
情報管理部 技術情報担当 久島 秀資
篠原 年春

システム設計		ファイル仕様書		納入データファイル (1/2)				C10.04.2		P.	
ファイル名称		ファイル記号名称	レコード記号名称	ファイル区分	ファイル媒体	ファイル編成		レコード形式	レコード長	文字コード	
特許 PFKW. DAT, 実用 PFKW. DAT 新実 PFKW. DAT		FTSAG021		・マスタ (トランス) ・蓄積 (テキスト形式)	・CD-R	テキスト形式 (改行有り)		・F (固定長)	360	シフト JIS	
項番	レベル	項目名称	項目記号名称	属性	バイト数	反復回数	キー項目	項目説明			
1	01	パトリスフリーキーワードレコード	PATORIS-FKW-REC								
2	03	法区分	HOUKBN	X	1			半角スペース			
3	03	レコード種別	REC-SYUBETSU	X	4			'6317'			
4	03	蓄積コード	TIKUSEKI-CODE	X	1			'1'			
5	03	長さ	NAGASA	X	4			'0000'			
6	03	出願番号	SYUTUGAN-NO								
7	05	年	NEN-1	X	4			西暦年			
8	05	番号	NO-1	X	6			数字 (右詰前0埋め)			
9	03	出願年月日	SYUTUGANBI	X	8			西暦年月日 (右詰前0埋め)			
10	03	予備	FILLER	X	11						
11	03	文献番号	BUNBAN					公報の番号を設定。 ※再公表は、(別紙)再公表番号部の特殊編集基準による			
12	05	資料型	SIRYOGATA	X	1			A:公開特許公報、公表特許公報、再公表特許 (特許) U:公開実用新案公報 (実用)、登録実用新案公報 (新実用)			
13	05	年情報1	NENJO-1					(元号表記番号体系の場合)			
14	07	元号	GENGO	X	1			H:平成 S:昭和			
15	07	年	GENGO-NEN	X	2			数字 (右詰前0埋め)			
16	07	元号判定	GENGO-HANTEI	X	1			半角スペース			
17	07	元号番号	GENGO-NO	X	6			数字 (右詰前0埋め)			
18	05	(年情報2)	NENJO-2					年情報1の再定義 (西暦表記番号体系の場合)			
19	07	(西暦年)	SEIREKI-NEN	X	(4)			数字			
20	07	(西暦番号)	SEIREKI-NO	X	6			数字 (右詰前0埋め)			

再公表番号部の特殊編集基準

項番	番号部	編集方法	例	変換後
1	000000～099999	"8"+番号部後ろ5バイト	001234	801234
2	100000～109999	"8A"+番号部後ろ4バイト	101234	8A1234
3	110000～119999	"8B"+番号部後ろ4バイト	111234	8B1234
4	120000～129999	"8C"+番号部後ろ4バイト	121234	8C1234
5	130000～139999	"8D"+番号部後ろ4バイト	131234	8D1234
6	140000～149999	"8E"+番号部後ろ4バイト	141234	8E1234
7	150000～159999	"8F"+番号部後ろ4バイト	151234	8F1234
8	160000～169999	"8G"+番号部後ろ4バイト	161234	8G1234
9	170000～179999	"8H"+番号部後ろ4バイト	171234	8H1234
10	180000～189999	"8I"+番号部後ろ4バイト	181234	8I1234
11	190000～199999	"8J"+番号部後ろ4バイト	191234	8J1234
12	200000～209999	"8K"+番号部後ろ4バイト	201234	8K1234
13	210000～219999	"8L"+番号部後ろ4バイト	211234	8L1234
14	220000～229999	"8M"+番号部後ろ4バイト	221234	8M1234
15	230000～239999	"8N"+番号部後ろ4バイト	231234	8N1234
16	240000～249999	"8O"+番号部後ろ4バイト	241234	8O1234
17	250000～259999	"8P"+番号部後ろ4バイト	251234	8P1234
18	260000～269999	"8Q"+番号部後ろ4バイト	261234	8Q1234
19	270000～279999	"8R"+番号部後ろ4バイト	271234	8R1234
20	280000～289999	"8S"+番号部後ろ4バイト	281234	8S1234
21	290000～299999	"8T"+番号部後ろ4バイト	291234	8T1234
22	300000～309999	"8U"+番号部後ろ4バイト	301234	8U1234
23	310000～319999	"8V"+番号部後ろ4バイト	311234	8V1234
24	320000～329999	"8W"+番号部後ろ4バイト	321234	8W1234
25	330000～339999	"8X"+番号部後ろ4バイト	331234	8X1234
26	340000～349999	"8Y"+番号部後ろ4バイト	341234	8Y1234
27	350000～359999	"8Z"+番号部後ろ4バイト	351234	8Z1234

キーワードデータ納入リスト

平成●●年●●月発行公報分

納入日 平成●●年●●月●●日

データ名称	レコード数	文献数
特許P F K W	XXX,XXX	ZZ,ZZZ
実用P F K W	XXX,XXX	ZZ,ZZZ
新実P F K W	XXX,XXX	ZZ,ZZZ

- ・ A 4 版横で作成すること。
- ・ リストは表紙及び納入レコードの内容ページの 2 部構成とすること。
- ・ 表紙には上記の項目を表示すること。
- ・ タイトルは「キーワードデータ納入リスト」とし、いつ発行分の公報に係るキーワードデータか及び納入日を表示すること。
- ・ 納入データの内訳を、データ名称・レコード数・文献数 で示すこと。
なお、納入がないデータ名称についてはレコード数・文献数を 0 とすること。

キーワードデータ納入リスト

今回納入レコード

〇〇年〇〇月 納入分

1. 公開特許

先頭レコードの内容

最終レコードの内容

出願番号	文献番号	公報発行日
YYYYXXXXXX	AYYYYXXXXXX	YYYYXXXX

出願番号	文献番号	公報発行日
YYYYXXXXXX	AYYYYXXXXXX	YYYYXXXX

2. 公開実用

先頭レコードの内容

最終レコードの内容

出願番号	文献番号	公報発行日
YYYYXXXXXX	UYYYYXXXXXX	YYYYXXXX

出願番号	文献番号	公報発行日
YYYYXXXXXX	UYYYYXXXXXX	YYYYXXXX

3. 公表・再公表

先頭レコードの内容

最終レコードの内容

出願番号	文献番号	公報発行日
YYYYXXXXXX	AYYYYXXXXXX	YYYYXXXX

出願番号	文献番号	公報発行日
YYYYXXXXXX	AYYYYXXXXXX	YYYYXXXX

4. 新実用

先頭レコードの内容

最終レコードの内容

出願番号	文献番号	公報発行日
YYYYXXXXXX	UXXXXXXXXXX	YYYYXXXX

出願番号	文献番号	公報発行日
YYYYXXXXXX	UXXXXXXXXXX	YYYYXXXX

- ・納入レコードの内容ページは上記の内容を表示し、納入がないレコードについては、項目のみ表示し値は表示しないこと。
- ・文献番号の先頭は公開特許、公表・再公表は「A」を、公開実用、新実用は「U」を表示すること。

出願番号・文献番号リスト作成仕様

- ・ファイル名は「PFKW.txt」とする。各データ毎に以下に示す形式で各番号の内容を示すこと。(出願番号・文献番号リスト見本参照)
- ・各記号の意味は次のとおり： A・U：(固定値)、 Y：年(西暦4桁)、 X：番号、 Z：特許・実用の別(特許1・実用2)

1. 公開特許

出願番号	文献番号	データ入力例
ZYYYYYXXXXXXXXAYYYYYXXXXXXXX		12006009006A2007189917

2. 公表・再公表

出願番号	文献番号	データ入力例
ZYYYYYXXXXXXXXAYYYYYXXXXXXXX		

※以下の各ケースに応じて入力すること。

公表：文献番号 XXXXXXX	データ入力例
	12007522491A2007536890
再公表：文献番号 XXXXXXX の先頭1桁が0の場合は、8+番号部後ろ5桁付	12004525832A2004812811
再公表：文献番号 XXXXXXX の先頭2桁が10の場合は、8A+番号部後ろ4桁付	12006516878A20058A0793
再公表：文献番号 XXXXXXX の先頭2桁が11の場合は、8B+番号部後ろ4桁付	12005500757A20048B1627
再公表：文献番号 XXXXXXX の先頭2桁が12の場合は、8C+番号部後ろ4桁付	12005500761A20048C1789

3. 新実用

出願番号	文献番号	データ入力例
ZYYYYYXXXXXXXXU△XXXXXXXXXX		22007004705U 003135047

※新実用：文献番号 XXXXXXXXXX は文献番号右寄せして、前0を付与

4. 公開実用

出願番号	文献番号	データ入力例
ZYYYYYXXXXXXXXUYYYYYXXXXXXXX		22003001878U2006000001

(出願番号・文献番号リスト見本)

12005506279A20048A1619
12005500757A20048B1627
12004525831A2004813118
12004525804A2004813192
12004525843A2004813263
12004532708A2004820433
12005514190A2005830198
12005514228A2005830200
12005514319A2005830219
12005514153A2005830236
12005514322A2005830399
12005514302A2005830424
12005514176A2005830439
12005514156A2005830465
12006530795A2006529072
12006532888A2006529073
12006533024A2006529074
22005008761U 003127451
22005009322U 003127452
22005008493U 003127453
22006000674U 003127454
22006000675U 003127455
22006001488U 003127456
22003001878U2006000001